

当院にて顔面非対称を伴う顎変形症で手術による矯正治療をされた患者様へ

この度、東京歯科大学歯科矯正学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

「頭蓋変形と顔面非対称の関連性の検討」

2. 研究目的

骨格的な顔面非対称を伴う不正咬合の改善のため外科的矯正治療を行い、適切な噛み合わせと顔面の対称性を獲得する治療が行われています。近年、乳幼児期から成長期にかけて頭蓋骨の変形が、将来的な顔面の非対称性に関わることが言われています。

そこで、頭蓋骨の変形と顔面の非対称の関連性を検討することが本研究の目的です。これにより、今後、将来的に生じる可能性のある顎の変形に対して、早期の治療予測および治療計画の立案が可能となります。

3. 研究方法

本研究は当院矯正歯科にて1981年1月から2018年12月の間に顔面非対称を伴う顎変形症と診断され、外科的矯正治療をされた患者様を対象としています。対象となる患者様の症例調査票を作成後、レントゲン写真、CT画像を用い、頭蓋骨の形態と顔面の対称性に対して形態学的に計測・評価し、その関連性の検討を行います。

4. 個人情報の取り扱い

症例調査票には、住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。

研究に使用する情報は、対象者が第三者により特定できない符号化による匿名加工化を行い、歯科矯正学講座森川泰紀助教の管理のもと、当研究担当者のみでの取り扱いとなります。

5. 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は学会や科学専門誌などに使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公開されることなく、個人情報は守られます。

6. 研究協力者に生じる利益および不利益

本研究は既にある患者様のレントゲン写真、CT画像を使用して、新たな検査などを行いませんので、患者様に研究によるご負担や不利益はございません。

7. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。

8. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出お願い致します。それによって、患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 森川 泰紀

連絡先 043-270-3903(矯正科受付)